

# とうじいの山甲から

たいぶさみさき

大房岬自然公園ニュースレター No.120

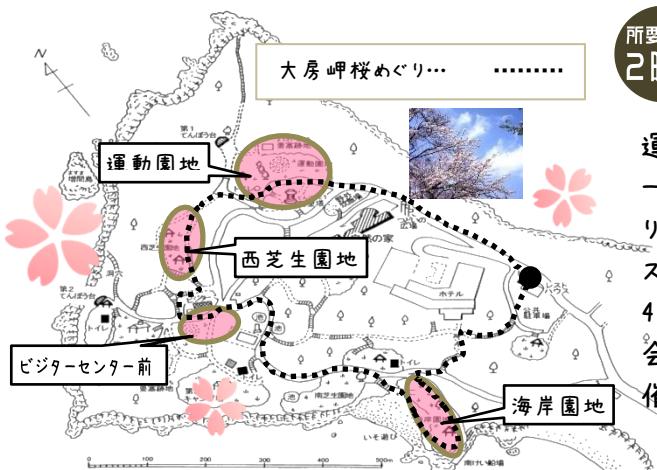
2017年  
3月

冬の大房岬は強い風が吹き、南かい船場に打ち付ける波が内房とは思えない荒々しい姿を見せます。強い風は3月に入ると落ち着き、温かな春が桜と共にやってきます。



Facebook・twitterをはじめました。自然情報公開中。  
「大房岬自然公園」で検索!

## たいぶさ 桜 さんぽ ~散策コース案内~



### 2時間 大房岬桜めぐり

運動園地、西芝生園地、ビジターセンター前、海岸園地をゆったりと回って桜を観賞するのがオススメ! お弁当を持って出かけよう♪ 4/8(土)には運動園地をメイン会場として“さくらフェスタ”が開催されます。



↑園内の約250本の桜が咲き誇ります。大房岬は隠れたお花見スポット!

…公共駐車場を出発して、園内を散策して  
また、公共駐車場にもびっくりまでの目安の時間。

## 山甲の自然情報

### 2種類の桜～オオシマザクラとソメイヨシノ～



↑オオシマザクラはソメイヨシノよりも白っぽい花。

園内には2種類の桜があります。2月中旬から咲き始める「オオシマザクラ」は花びらが白で花と葉が一緒に開きます。3月下旬から4月上旬に咲く「ソメイヨシノ」は花びらが淡いピンク色です。

### 春を告げる声～ウグイス～



↑地味な配色で茂みからはほとんど出てきません。

毎年、春になると「ほ～ほけきょ!」とかわいらしく声でさえずるウグイス。この鳴き声はオスのもので縄張りを主張する声。かわいらしく聞こえますが、ウグイスの言葉では激しく威嚇しているようです。

## キャンプ場情報

### Gw・夏休み・SW 予約受付中!

現在、大房岬自然公園キャンプ場はH30年2月までの予約が可能です。Gwは現在5/3～5までの宿泊がキャンセル待ち。海の日、SWも予約が埋まり始めております。ご宿泊のご予約はお早目に! 来年度のイベントの受付も開始しております。人気のナイトプログラムも受付中です!

※空き状況のご確認はHPをご覧下さい。

大房岬自然公園



## 自然公園小話

### 頼朝の進め島

南かい船場の目の前にあるえぼしのような形の小さな島。名前は“雀島”。平氏との戦いに負け、安房に逃げのびてきた源頼朝が戦に勝つようにお参りしたとき、鎌倉に向かって「進め、進め」と言っていたので最初は「進め島」と呼ばれていました。しかし、いつの頃か雀がたくさん棲んでいたために雀(すずめ)島に変わってしまったそうです。



「H29年度大房岬自然公園年間イベントスケジュール」→裏面へ

ご予約受付中!  
定員になり次第締切!

## 冬の岬探検ツアー 探鳥ルート

冬の大房岬をガイド付きでご案内。  
大房岬にやってくる冬の鳥たちをメインに紹介しながらビジターセンタースタッフの楽しいガイドで園内を散策します。



初心者でも安心の双眼鏡レンタル付

日付:

11/20  
(日)

12/4  
(日)

1/29  
(日)

2/12  
(日)

3/4  
(土)

冬季キャンプ  
大歓迎!

大房岬キャンプ場は年末年始以外は休まず営業中! 冬もみんなでキャンプ場へ行こう!

時間: 10:00~11:30

料金: 大人 1000 円/小学生以下 800 円

対象: どなたでも (小学生以下は保護者同伴)

定員: 20 名※要予約。定員になり次第受付終了



### レイトチェックアウト 冬だけ無料!

11月から翌年2月までの期間、通常は11:00までのチェックアウトを無料で15:00まで延長できます。釣り人やのんびりと過ごしたい人にオススメです! ご希望の方は、予約時にお伝え下さい。



スタッフ  
のご紹介!

TEL 0470-33-4551



#### ●おさかな俱楽部

南房総市富浦町原多田良 1254

TEL: 0470-33-2512

営業時間 11:00~15:00

(売り切れ次第終了)

定休日 月曜日(祝日は営業)

多田良海岸の奥、富浦漁港内にある黄色い建物。昔は漁業組合の中で営業していたそうです。

土日祝日などの混雑しているときは開店1時間前から並ぶことも。



ボリューム満点のお魚定食がそろっています。その日水揚げされた新鮮なお魚を使った料理はどれもオススメです! 珍しい魚の1日1食限定のメニューもあるとか!?

大房岬自然公園勤続15年の大ベテラン! 公共駐車場インフォメーションセンターにて日々、公園に訪れるの方の案内をしています。高島美智子さんです。愛称は「みっちゃん」! キャンプ場の車のご案内をしているので、キャンパーの方は顔見知りの方もいるかも…。大房岬のある南房総市富浦町出身で地元の文化や歴史のこと、いろいろなことを知っています。

